

シャロームメモ

2019. 11. 22

第13号

1. 「シャローム平和のための祈りのセンター11月の意向」を共に祈りましょう

今月は以下の祈りの意向が寄せられました。 恵みの家が全世界の SSND を代表して世界の平和を祈る毎月の23日に、コミュニティーで、個人で、または関わりある方々と共に心を合わせて祈りましょう。

- ① 先日英国行きの冷凍コンテナ船の中で 39 人のベトナム人が遺体で発見された事件が報道されましたが、その中には日本在住のベトナム人ノビスの同級生やカトリック信者の女性も含まれていました。ベトナムでは失業率が高く、又、低賃金や劣悪な環境で働かなくてはならないことも多いようです。そのため、家族を支える仕事を探す為に不法入国・不法就労でも海外での労働を求めるベトナム人が多く、人身売買等の事件にも巻き込まれています。亡くなられた方々に永遠の安息が、遺族の方々には慰めと力が与えられますように、また、このような悲劇を生み出す社会の仕組みを変えることができますよう、主の恵みと導きを祈ります。
- ② 介護保険の自己負担金が年々増えている中で、新たな増額が検討されています。介護保険を適正に運用し、すべての人々が必要な支援を受けることができるよう、神の助けを祈ります。

介護、看護職員のために祈ります。同僚や周りの人々と協力して、困難な状況の中でも愛情を持って対応できますよう、恵みをお与えください。

病院や施設で、自分で思うように体を動かすことができず長期間過ごしている方々のために祈ります。彼らに希望と喜びをもたらす神の恵みが与えられ、適切な環境改善の取り組みに、神の導きを与えられますように。

- ③ 香港における人々の抗議行動と警察の抑止行動の応酬が暴力化の一途をたどる現状です。香港の人々の人権と自治が守られ、平和な国を取り戻すことができますよう、主の御力で人々を、状況を導いてくださいますように
- ④ 日本国憲法公布から 11 月 3 日で 74 年になりました。国として軍事力は持たない、戦争はしないと明確に憲法に記載しているからこそ、この 74 年間日本は何とか戦争に巻き込まれずに済んできたのです。今、この平和への誓いを述べた憲法の箇所が改定されようとしています。平和憲法を守り抜くことができますよう、私たちの理解を照らし、行動を導いてください。
- ⑤ 10 月 26 日にアマゾン特別シノドスが終わりました。最終文書で呼びかけられているように、アマ

ゾンで今起きている悲劇は地球全体に、そして日本の私たちにも直接影響を及ぼすものです。アマゾン特別シノドスのメッセージを受け、私たちが『過剰消費の文化』に対抗して、神の被造物の価値への気づきに成長し、生き方を変えて行くことができますよう導いてください。

- ⑥ 11月17日は第3回目の『貧しい人のための世界祈願の日』でした。今、世界中の貧しい人々が、それぞれに最も必要としている恵みをいただくことができますように。イエスが最も心にかけておられる貧しい人々への無関心から私たちを救い、貧しい人々が人としての尊厳を持って生きられる社会づくりに力を尽くして行くことができますように。

2. 12月の『国際シャローム平和を祈る日』の意向を募集しています。

幅広く社会のニーズに心を向けて祈るため、多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

12月16日(月)までに本部オフィスまたはS. ジュディスにお届けください。

平和のための祈りのセンターは、シャローム活動の発電所です。毎月23日の祈りを通して、世界の苦しむ人々のため、世界平和への様々な取り組みとその実現のため、自然界に健全さを取り戻すため、私たち自身がこれらの課題への気づきに成長し行動して行くことができるようになるため、心を合わせて祈りましょう。

より多くの皆さまから祈りの意向が寄せられることで、私たちの祈りの視野が広がり、深まります。投稿をお待ちしています。

3. お知らせ

- 『山科・平和のための戦争展 展示とトークの集い』のチラシをお届けします。

開催日、12月8日は日米開戦から78年目です。ぜひ、お誘い合わせていらしてください。

- シャロームからの待降節第1主日の祈りをご活用ください。

インマヌエル、私たちとともにいてくださる主よ、

世界は闇の中で、あなたの光を待ち焦がれています。

漆黒の闇の中に、希望の光をともしてください。

戦争のさなかで、恒久の平和を切望している私たちとともにいてください。

敵の間での和解を切望している私たちとともにいてください。

あなたの民の最も深い願いを満たし、

私たちの心の闇、世界の闇を追い払ってください。

あなたの愛と正義を生きたものとするため

世界が必要としている希望に火をともってください。アーメン。